

ソフトウェア更新情報

Ver10.57 vs Ver10.72

Ver10.57 と Ver10.72 の差分を説明します。Ver10.57 をお使いのユーザはご一読ください。新しいユーザの方はこのページを読み飛ばしても構いません。

| 機能 | 改善 | 新機能 |
|---|----|-----|
| バックアップ電池が消耗すると電源投入時に「Warning! Cal Data is Lost」と表示される | | |
| 選択中の Cell Type (Ni-Mh または Ni-Cd) に関連するパラメータだけ変更できるようになった。例えば Ni-Mh 選択中は Ni-Cd の充電電流は変更できない。この機能の影響を受けるパラメータは次のとおり DELTA Volts、Charge Amps、Charge Type、Lockout、Lockout Max、Temp Cutoff、Temp Safety Delta、Turbo Inc、Hard Pulse % | | |
| Temp Charge 終了の理由が Safety Delta によるものか温度によるものか表示される (以前は Temp Charge 終了の理由がわかりにくかった) | | |
| Set Data Rate で放電中のデータ送信間隔が変更できるようになった (以前は 1 秒固定でした) | | |
| Delay Discharge (放電開始までの待ち時間) を最大 60 分に設定できるようになった (以前は最大 10 分でした) | | |
| 充電終了時のメッセージをわかりやすく変更。充電が終了すると「CHARGE END PRESS A KEY」と表示される (以前は「Quitters Never Win」だった) | | |
| 30A 放電のサポート (30A 放電をおこなうには本体のアップグレードが必要です) | | |
| ユーザインターフェースの統一。パラメータの設定方法がまちまちだったのでこれを統一 (以前は 1 や 2 を押して設定するパラメータと *や# を使って設定するパラメータが混在し、操作方法が統一されていなかった) | | |
| Cycle Time (サイクル充放電の間隔) を最大 1 週間 (168 時間) に設定できるようになった (以前は最大 7 2 時間でした) | | |
| Cycle Time 期間中にセルの電圧を確認できる (以前は Cycle Time のカウントダウン画面ではセルの電圧を確認できなかった) | | |
| Cycle Time 中に 1 キーを押すとプロトトラックの状態を確認できるようになった (デバック用) | | |
| メモリ量節約のためトーン・メッセージの編集機能を廃止した (それに伴い SET TONES/MESS メニューが SET TONES メニューに変更された) | | |
| すべてのキャリブレーションデータが PC に送信されるようになった (以前はキャリブレーションデータ 3 1、3 2 番が送信されなかった) | | |
| Temp Detect Module が検出する温度のキャリブレーション (校正) が可能 | | |
| SETUP→CSV File Type メニューの廃止 (使用されないパラメータでした) | | |
| Report Auto/Man と Set CSV data メニューの廃止 (使用されないパラメータでした) | | |
| Temp Charge の Safety Delta を SETUP であらかじめ設定できるようになった (以前は Temp Charge の度に設定する必要があった) | | |
| Lockout Max の追加 (Lockout はこれ以上の値に設定できない) | | |
| Hard Plus 電流の高さを 10 ~ 120 % の範囲で設定できる | | |
| Set Cal Figures 実行中にキャリブレーションテーブル 10、20、30 へワンタッチで移動可能 | | |
| セル数の設定画面をみても DELTA Volts の設定が初期化されなくなった (以前はセル数の設定画面を開くと DELTA Volts の値が初期値に戻っていた) | | |
| セル数の設定画面で DELTA Volts と Repeak DELTA Volts が同時に表示される | | |
| Pack Test 後に # キーで最大電圧、最大 Fallback をトグルできるようになった | | |
| Pack Test 中は 1 秒毎に電圧データが PC に送られる。Pack Test 後に Result データが PC に送信される | | |
| Pack# を指定するとき 9 キーを押すとパック番号を 10 加算できる | | |
| S.A.L (SI Analysis Laboratory) 機能の追加。高度充電シーケンスの研究が可能 | | |
| MPCM (3 ステージ充電) が SETUP から設定できるようになった (以前は電源の入れ直しが必要でした) | | |
| 充電中のデルタ電圧の変更をできないようにした (誤設定の場合危険だから) | | |
| 放電データの E/Volts (終了時電圧) が追加された | | |
| キャリブレーションデータ 1 と 2 の値を変更できないようにした (これらの値は自動的に設定される) | | |
| Power% の計算方法の変更 | | |
| 華氏による温度表示が可能になった | | |
| DOS グラフオプションの廃止 | | |
| パワーアップトーンを削除し固定 | | |
| リザルトデータに PV1, AV1, AVE データが追加された | | |
| Profile 充電が開始されるタイミングを充電容量で指定できるようにした (Profile L/Out パラメータの追加) | | |



オンラインショップ S! ではプロトトラック社と技術的な交流をおこなっています。Ver10.72 で追加された機能の多くはオンラインショップ S! の試験で完成されたものです。これからもオンラインショップ S! ではプロトトラック社を全面的にサポートしていきます。次期バージョンに関する要望があればご連絡ください。ユーザの力でより強力な充電器に育てていきましょう